

「愛の律法に生きる私たち」愛と自由に生きる⑫

出エジプト記20章1～17節



三ヶ月余にわたり礼拝において「十戒」のことばに耳を聴けてきました。「十戒」は、イスラエルをエジプトから救い出された神が、彼らの新しい歩みのために与えられた戒めです。そして、イエスキリストは、すべての戒めは「神を愛し、そして隣人を愛する」ことにかかっていると教えられました。私たちは、私たちのうちに住まれる聖霊によって、この戒めにしたがって生きることができるのです (0-マ8:4)。

① 「わたしとあなた」と言われる神を、神とする

“わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。…” 2-

② 私たちの人生を貫く戒めとして

“イエスは彼に言われた。『あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、知性を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。』これが、重要な第一の戒めです。『あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい』という第二の戒めも、それと同じように重要です。この二つの戒めに律法と預言者の全体がかかっているのです。 ”マタイ22:37-

③ とともに神の国の交わりを築くために

“わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いの中に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。” ヨハネ13:34-

“だれに対しても、何の借りもあってはいけません。ただし、互いに愛し合うことは別です。他の人を愛する者は、律法の要求を満たしているのです。「姦淫してはならない。殺してはならない。盗んではならない。隣人のものを欲してはならない」という戒め、またほかのどんな戒めであっても、それらは、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」ということばに要約されるからです。愛は隣人に対して悪を行いません。それゆえ、愛は律法の要求を満たすものです。” 0-マ13:8-

<話し合ってみましょう>

- ・人生の指針としての戒めをもって生きることと、そうでない歩みには、どのような違いが生まれてくると思いますか。
- ・神を愛すること、そして隣人を愛すること。この戒めを指針として、あなたは具体的にどのように生きていきたいと考えていますか。